

令和 4 年 11 月 14 日
道路局 国道・技術課

道路行政ニーズを実現するためFS研究・短期研究を 2 件採択します

○新道路技術会議において、道路行政ニーズを実現するためFS(フイージビリティスタディ)研究・短期研究として 2 件採択することとしましたのでお知らせします。

国土交通省道路局では、「学」の知恵、「産」の技術を幅広い範囲で融合し、道路政策の質を一層向上させるため、平成 16 年 10 月より新道路技術会議(委員長:朝倉 康夫 東京工業大学名誉教授、神戸大学名誉教授)を設置しています。

今年度からFS研究・短期研究を立ち上げ、通年募集し年間 4 回、合計 10 件程度を採択することとしています。

今回、8 月末までに応募のあった 3 件について新道路技術会議において審議し、別紙の 2 件を採択することとしました。

※F S 研究：本格研究の実施に向けた実行可能性調査として実施するもの

短期研究：短期的に実施可能な小規模な研究開発

なお、令和4年度のFS研究・短期研究は今後も引き続き募集しています。

<応募の審査時期>

応募	審査
9月～11月	12月
12月～2月	3月

(次回)

<応募要領等>

- FS 研究・短期研究 募集要領及び提案様式

(<https://www.mlit.go.jp/road/tech/shinki/koubo.html>) 国交省 HP

- 道路行政ニーズ

(<https://www.mlit.go.jp/road/tech/index.html>) 国交省 HP

<問い合わせ先>

国土交通省道路局 国道・技術課 松實、豊田(内線 37862、37855)
(代表) 03-5253-8111 (直通) 03-5253-8498 (FAX) 03-5253-1620

＜ソフト分野＞

FS/短期	研究テーマ名	提案概要	研究代表者名
FS	交通流動 (車・歩行者) の計測を簡便 に実現する、 振動センサを 用いた技術研 究開発	<p>簡素かつ小型の振動センサを用いて道路を通過する際に伝搬する振動特性を AI 学習により車両・人を区別し流動を計測するアルゴリズムを開発し、従来比で極めて低コスト、設置工事を不要の特徴より、即時運用可能なシステムを実現する。</p> <p>FS 研究では、設置条件と計測を可能とする対象と識別できる内容を特定し、本格研究では精度向上とシステム化の実現と、道路異常状態の検出方法を明確にする。</p>	オンキヨー株式会社 開発部開発課 課長 近藤 裕介
短期	乱横断に起因 して発生する 交通事故を対 象とする交通 事故対策に関 する技術研究 開発	<p>夜間における道路横断に起因する交通事故の対策として、歩行者感知によってライトアップを行う照明システムを提案する。</p> <p>さらに、歩行者照度の時間変化に着目し、同照明システムによる歩行者認知向上効果、および横断箇所へ接近する車両の速度抑制効果について評価する。</p>	愛媛大学大学院 理工学研究科 講師 白柳 洋俊